

産業競争力の強化・外国人材の受入対策に係る主要事業について

令和2年 7月 31日
 危機管理監
 総務局
 地域政策局
 健康福祉局
 商工労働局
 農林水産局
 土木建築局
 企業委員会
 教育委員会
 警察本部

項目	事業概要	取組状況等
<p>1 第4次産業革命を好機とした生産性革命</p> <p>県内はもとより、国内外を問わず、技術やノウハウを保有する企業や人材を集積するため、県内外の企業や人材が共創で試行錯誤できるオープンな場「ひろしまサンドボックス」を構築するとともに、県内外の大学・研究機関、スタートアップ企業とのマッチングや通信事業者との連携による支援などに取り組む。</p> <p>加えて、それらを支える基盤づくりとして、引き続き、産業界が求めるデジタ</p>	<p>① 地域産業 I o T 等活用推進事業【商工労働局】（一部新規） 602 百万円</p> <p>AI/I o T等の新しいデジタル技術の活用による課題解決に向けた実証実験を県内外の民間企業等との共創により、広島発の新たなソリューションの創出を目指すとともに、ひろしまサンドボックス推進協議会の機能を強化することにより、AI/I o Tの人材や企業の集積を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実証プラットフォームによる新たなソリューションの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の企業・大学・自治体等、様々なプレーヤーの参画によるAI/I o Tを活用した実証実験を行う場（プラットフォーム）の提供 ○ ひろしまサンドボックス推進協議会の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家等によるセミナーの開催や首都圏スタートアップ企業等とのマッチングによる事業化支援等 ○ AI人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・大学生や高専生等を主な対象とした人材育成プログラムの実施 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実証プロジェクト数 9件 ○ ひろしまサンドボックス推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 1,031 者 (H30～R2.4.1 現在) ・サポートメニュー数 8件 ○ 実証実験参加者数 136 者 (H30～R2.4.1 現在) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実証プラットフォームによる新たなソリューションの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・実証プロジェクト（9プロジェクト）の推進 ○ ひろしまサンドボックス推進協議会の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックチェーンや5G等の最先端技術を活用した新規事業創出に向けた支援 ・専門家等によるセミナーやワークショップの開催、新たなビジネスモデル構築に向けた伴走型支援 ・県内外の大学や研究機関や首都圏スタートアップ

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>ル人材育成に向けた取組を推進するとともに、中堅・中小企業に対するデジタル技術の導入支援に取り組む。</p>	<p>② 「ひろしまものづくりデジタルイノベーション」創出事業【商工労働局】 1,145 百万円</p> <p>産学官の連携の下、大学での先端的な研究及び高度専門人材の育成と地域の中核的な産業を結びつけることで、地域産業の更なる振興と人材の育成及び集積の好循環を起し、地域活力の向上と持続的な発展を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先端研究への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「広島大学デジタルものづくり教育研究センター」を拠点とした、革新的多機能材料や制御システムの研究開発及び社会実装への展開など、産学の連携による先端的な研究への支援 ○ 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・広島大学，県立広島大学，広島市立大学等の県内大学の連携による，データサイエンス分野における社会人向けの人材育成の実施 ○ 実証環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・開発した材料やシステムを実証・試作する環境（テストベッド）の整備 	<p>プ企業等とのマッチング支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ AI人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル人材開発プラットフォーム「ひろしまQuest」の実施 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島大学デジタルものづくり教育研究センター」新設（H31. 2） ○ 新センターの活動状況（R2. 3末時点） <ul style="list-style-type: none"> ・研究プロジェクト数：3プロジェクト ・参画機関数等：延べ40社・機関，346名 ○ 社会人向け「実践的データ利活用人材育成研修」の実施（R1. 10～R2. 2） <ul style="list-style-type: none"> ・基礎講座受講者数：100名 ・実践講座受講者数：上記のうち30名 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究拠点の改修等を通じた研究環境の整備 ○ 県内大学の連携によるデータサイエンス人材の育成カリキュラム策定及び県内企業の参加促進 ○ テストベッド棟の建設

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>2 中小企業・小規模企業の持続的な成長への支援</p> <p>更なる発展を目指して、新たな付加価値の創出などに取り組む中小企業・小規模企業を支援するため、持続的なイノベーションを創り出すための基盤強化を促進するとともに、多様な産業人材の集積や効果的な事業承継など、企業ニーズに応じた総合的な取組を推進する。</p>	<p>① 創業・新事業展開等支援事業【商工労働局】</p> <p>161 百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>中小企業の新事業展開の支援や、サービス産業において生産性向上を図るため、付加価値の創出や業務の効率化の取組を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業イノベーション促進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングから市場獲得までの各分野における全国で活躍する専門家で構成された支援チームにより、中小企業を集中支援 ・企業価値や競争力の向上による企業成長を目指し、技術・経営力の評価書を発行し、信用力の向上による融資や経営課題の解決を支援 ○ サービス産業生産性向上支援（一部オンラインによる事業を実施） <ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化等の課題解決に向けた取組を考え、実行を促す機会の提供 ・企業に収集・蓄積されたデータを分析・活用する学びの場の提供（セミナー、ワークショップ） ・革新的なサービス等のイノベーションを創出する組織を作るための知見や技法を学ぶ機会の提供 ○ 中小・ベンチャー企業のチャレンジ応援 <ul style="list-style-type: none"> ・中小事業者がビジネスプランに基づき取り組む新たなビジネスモデル等の実現に向けた支援 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業イノベーション促進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・チーム型支援企業（H24～R1）95 社 ・技術経営力評価書発行実績（H25～R1）284 件 ・評価書に基づく融資実績（H25～R1）324 件、108 億 7,946 万円 ○ サービス産業生産性向上支援（R1） <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊・卸小売・飲食業を対象とした現場改善の実施やフォローアップ（全 17 日、29 社参加） ・クラウドサービス等の導入に向けた IT 活用セミナーの開催等（全 11 回、R1 IT 導入補助金 273 件採択） ・イノベーションを創出する組織を作るための知見や技法を学ぶスクールの開催（全 15 回、20 社参加） ○ 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・（R1）採択件数 9 件、事業費 2,818 万円 <p>【今後の取組予定】（状況によりオンライン開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業イノベーション促進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の企業にインパクトを与えるこれまでの取組に加え、新たに飛躍的な売上増や特徴的な製品開発、新事業展開等により、地域経済を牽引できる企業の創出に向けた支援を実施する。 ・制度周知のための知的資産経営セミナー、事業性評価研究会を開催する。 ○ サービス産業生産性向上支援 <ul style="list-style-type: none"> 現場が抱える課題解決のための知見等を学ぶ

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等												
	<p>② 預託制度運用費【商工労働局】（一部新規） 新規融資枠 53,700 百万円</p> <p>県内産業を支える中小企業に対して、民間金融機関では提供が困難な長期・低利の資金を、預託融資制度の運用を通じて資金供給することにより、中小企業の資金調達の円滑化を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県が金融機関に対して、融資原資の一部を無利子で預託することにより、金融機関の通常の貸出利率より低利で中小企業へ資金を供給する。 <p>【R2 制度改正内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信用保証料割引率の見直し・拡充 ・ 貸出利率の設定方法の見直し 	<p>ワークショップを県中小企業団体中央会の事業として実施することで、生産性向上の取組を県全体へ波及させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業に収集・蓄積されたデータを分析・活用する学びの場を提供し、ノウハウ等の理解を高め、データを活用した生産性向上の取組を支援する。 ・ イノベーション創出のために必要な組織づくりの知見・技法を学んだ企業を中核に、自社では解決できない困難な課題を解決するためのプロジェクトを立ち上げ実行することで、その成果を全県的に波及させる。 <p>○ 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 採択企業の事業実施状況のフォローアップと新規採択に向けた公募を実施する。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用実績（直近3か年） <table border="1" data-bbox="1496 1040 2011 1177"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>4,777</td> <td>5,363</td> <td>5,093</td> </tr> <tr> <td>金額（百万円）</td> <td>30,079</td> <td>42,691</td> <td>40,644</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県HP、金融機関・産業支援機関等へのパンフレット配布等によるPR、あるいは中小企業・金融機関・産業支援機関等に対する説明会等を通じ、幅広く制度改正内容等を周知し、利用促進を 	年度	H29	H30	R1	件数	4,777	5,363	5,093	金額（百万円）	30,079	42,691	40,644
年度	H29	H30	R1											
件数	4,777	5,363	5,093											
金額（百万円）	30,079	42,691	40,644											

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業再生支援資金の常設化 ・ 無担保スピード保証融資制度の融資期間（7年→10年） <p>③ 中小企業人材確保支援事業【商工労働局】 32百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>働き方改革を通じて人材確保を図る中小企業等の取組を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奨学金返済支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員の奨学金返済を支援する中小企業等に対し、経費の一部を補助 ○ 第二新卒就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業への転職・就職を希望する第二新卒者と県内企業とのマッチング機会を提供するため、合同企業説明会を開催 	<p>図る。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奨学金返済支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ R1 までの奨学金返済支援補助金活用企業 延べ 30 社 ○ 第二新卒就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ R1 「ひろしま転職フェア」（参加者 402 人） ・ R1 市町主催就職・転職イベント（参加者数 755 人） ・ R1 までの第二新卒者の県内転職・就職者累計 延べ 789 人 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奨学金返済支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 制度普及に向けた企業へのPRや就活生等に対する周知活動を実施 ○ 第二新卒就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひろしま転職 WEB 合同説明会」（9～11 月）や民間人材紹介会社によるウェブを活用した相談会の開催等により、求人情報を提供

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>④ デジタル技術を活用した研究技術支援機能強化事業【総務局】（新規） 49 百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>総合技術研究所において、将来にかけて必要とされる技術を有する人材を継続的に育成し、県内中小企業等が抱える技術的課題に対応する基盤技術を整備することにより、技術支援機能を強化する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル技術を活用できる人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部講師による研修，コンサル等によりデジタル人材（研究員）を育成 ・ デジタル機器やデジタル化した技術を用いたセミナー等により，事業者等や県職員のスキルアップを支援 ○ 研究員の熟練技能のデジタル化による技術支援機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究員の技術支援機能のデジタル化 ・ 画像処理・A I 技術等を用いた研究員の熟練技能のデジタル化（酒造工程の発酵制御，農作物の栽培，牛の生育支援，目視判定試験・評価の自動化） ・ V R ・ A R 技術を用いた公設試のバーチャル化 ・ センター間ネットワークの構築 	<p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル技術を活用できる人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ A I，I o Tに係る外部講師による研修を開催し，デジタル技術を活用できる研究員を育成する。 ○ 研究員の熟練技能のデジタル化による技術支援機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル化に必要な機器を総合技術研究所各センターに整備して，データの取得・解析等を実施し，支援システムの開発に取り組む。

項目	事業概要	取組状況等
<p>3 イノベーション・エコシステムの共通基盤の強化</p> <p>新しい事業が次々と生まれる事業環境「イノベーション・エコシステム」の形成に向け、「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」を拠点とした人材の集積・交流・連携の創出やイノベーションマインドの醸成を推進するとともに、イノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積等を推進する。</p> <p>また、本県の強みであるものづくり産業を中心とした産業全体におけるデジタルイノベーションを創出するため、地域の産学官で連携してデジタルイノベーションを担う人づくりと産学の創発的研究開発を推進していく。</p>	<p>① ひろしまオープン・イノベーション推進事業【商工労働局】 181 百万円</p> <p>「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」を中心に、企業や大学、金融機関、行政など様々なプレイヤーが相互につながり、組織の枠組みを超えて出会い、交流等を行うことのできる取組を実施することにより、地域において絶え間ないイノベーションが創出される事業環境「イノベーション・エコシステム」を形成する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノベーション・ハブ・ひろしま Camps <ul style="list-style-type: none"> ・産学官が組織の枠組みを超えて交流等を行う常設の場「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」の管理運営 ○ 「ひろしまイノベーション・ハブ」形成促進 <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションを促す機運醸成を図るイベントや事業展開を支援するプログラム等の実施 ○ ひろしまデジタルイノベーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしまデジタルイノベーションセンター」におけるハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）の利用促進、普及啓発及び人材育成の支援 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノベーション・ハブ・ひろしま Camps <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 10,132 人（H31.4～R2.3） ・事業化件数 16 件（H31.4～R2.3） ○ ひろしまデジタルイノベーションセンター（H31.4～R2.3） <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成研修受講者 延べ1,489 人 ・センター利用状況 延べ40 社44 プロジェクト <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノベーション・ハブ・ひろしま Camps <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターによる細やかなアドバイスや交流イベントを通じたつながりの創出及び事業化支援 ○ 「ひろしまイノベーション・ハブ」形成促進 <ul style="list-style-type: none"> ・「イノベーション・トーク」、「グローバルイノベーション創出プログラム」、「県内企業の事業創出を支援するオープンイノベーションプログラム」、「大手 IT 企業と連携したデジタルマーケティング等のセミナー」等を開催 ○ ひろしまデジタルイノベーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしまデジタルイノベーションセンター」での利用者のレベルに応じた人材育成研修 ・HPCの利用拡大

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>② 「ひろしまものづくりデジタルイノベーション」創出事業【商工労働局】 1,145 百万円（再掲）</p> <p>産学官の連携の下、大学での先端的な研究及び高度専門人材の育成と地域の中核的な産業を結びつけることで、地域産業の更なる振興と人材の育成及び集積の好循環を起し、地域活力の向上と持続的な発展を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先端研究への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「広島大学デジタルものづくり教育研究センター」を拠点とした、革新的多機能材料や制御システムの研究開発及び社会実装への展開など、産学の連携による先端的な研究への支援 ○ 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・広島大学，県立広島大学，広島市立大学等の県内大学の連携による，データサイエンス分野における社会人向けの人材育成の実施 ○ 実証環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・開発した材料やシステムを実証・試作する環境（テストベッド）の整備 <p>③ 海外ビジネス展開支援事業【商工労働局】 16 百万円</p> <p>県内企業の海外事業展開ニーズが高く，ビジネスチャンスが見込まれる地域・業種において，外国企業との連携を通じて，新しい価値を産み出すビジネス展開を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シリコンバレーと連携した県内企業のイノベーション促進 <ul style="list-style-type: none"> ・世界をリードする先端企業や大学等の研究機関が集積し，イノベーションを産み出すビジネス環境が充実している米国シリコンバレーにおいて，現地コーディネーターを活用した商談支援やビジネスネットワーク等 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島大学デジタルものづくり教育研究センター」新設（H31. 2） ○ 新センターの活動状況（R2. 3 末時点） <ul style="list-style-type: none"> ・研究プロジェクト数：3プロジェクト ・参画機関数等：延べ40社・機関，346名 ○ 社会人向け「実践的データ利活用人材育成研修」の実施（R1. 10～R2. 2） <ul style="list-style-type: none"> ・基礎講座受講者数：100名 ・実践講座受講者数：上記のうち30名 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究拠点の改修等を通じた研究環境の整備 ○ 県内大学の連携によるデータサイエンス人材の育成カリキュラム策定及び県内企業の参加促進 ○ テストベッド棟の建設 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国企業招へいによる広島でのビジネスマッチング開催（H26，H27） ○ シリコンバレーでのビジネスマッチングの開催（H26～R1） <ul style="list-style-type: none"> ・企業の現地進出2件，現地企業との商談成立11件（累計：R1 年度末現在） <p>【今後の取組予定】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>を実施</p> <p>④ イノベーション人材等育成・確保支援事業【商工労働局】 161 百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>高度な技術・技能や経営感覚を持ったプロフェッショナル人材など、イノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積等を推進し、企業の新たな分野への展開や地域産業の活性化等を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プロフェッショナル人材マッチング支援 <ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏等のプロフェッショナル人材と県内中小企業等のコーディネーターや人材受入コストの支援 ○ イノベーション人材等育成 <ul style="list-style-type: none"> ・中小・中堅企業が社員を国内外の研修に派遣する費用や個人の専門職大学院の課程等での修学に要する費用の支援（令和2年度新規募集は休止中） ○ 広島県ものづくりグローバル人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・産学官が連携して、アジアをはじめとする優秀な理工系留学生を受け入れ、ものづくり企業のノウハウを活かしたカリキュラムによる人材育成を実施 	<p>ら取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シリコンバレーと連携した県内企業のイノベーション促進 <ul style="list-style-type: none"> ・シリコンバレーでのビジネスマッチングの開催 ○ および現地コーディネーターによる現地企業との商談機会の設定 <p>※「広島ハワイ次世代ビジネスリーダー・プログラム」(H29～R1 県事業として実施)は、非予算事業として民間の実施運営を支援</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プロフェッショナル人材 [マッチング] H30：162件，R1：176件 ○ イノベーション人材等育成 [採択] H30：44件，R1：37件 ○ グローバル人材育成 [就職] H30：6名，R1：5名 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、プロフェッショナル人材をはじめ、イノベーション人材やグローバル人材の確保・育成に向け、積極的に企業へのアプローチを実施し、支援制度の活用を促進

項目	事業概要	取組状況等
<p>4 多様な創業と新事業展開の促進</p> <p>絶えず多様なビジネスが創出される環境づくりに向けて、「オール広島創業支援ネットワーク」を通じ、創業機運の醸成や創業前の事業計画段階から創業後の離陸期までの一貫した支援に取り組む。</p> <p>また、生産性の向上を図るため、サービス産業における付加価値の創出や業務の効率化などを促す取組を進める。</p>	<p>① 創業・新事業展開等支援事業【商工労働局】 277百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>イノベーションが持続的に生み出される環境整備を進めるため、創業前の事業計画段階から創業後の離陸期までの支援を強化するなど、創業支援機能の強化を図るとともに、潜在的創業希望者の拡大に向けた取組や中小企業の新事業展開の支援を行う。</p> <p>また、サービス産業において生産性向上を図るため、付加価値の創出や業務の効率化の取組を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創業環境整備促進（一部オンラインによる事業を実施） <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしま創業サポートセンター」による創業支援、創業後の成長支援 ・女性向け伴走型創業支援の実施 ・広島県創業者表彰制度等の実施による機運の醸成 ○ 中小企業イノベーション促進支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングから市場獲得までの各分野における全国で活躍する専門家で構成された支援チームにより、中小企業を集中支援 ・企業価値や競争力の向上による企業成長を目指し、技術・経営力の評価書を発行し、信用力の向上による融資や経営課題の解決を支援 ○ サービス産業生産性向上支援（一部オンラインによる事業を実施）（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化等の課題解決に向けた取組を考え、実行を促す機会の提供 ・企業に収集・蓄積されたデータを分析・活用する学びの場の提供（セミナー、ワークショップ） ・革新的なサービス等のイノベーションを創出する組織を作るための知見や技法を学ぶ機会の提供 ○ 中小・ベンチャー企業のチャレンジ応援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・中小事業者がビジネスプランに基づき取り組む新たなビジネスモデル等の実現に向けた支援 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創業環境整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・創業・第二創業件数（H25～R2.3 現在）2,356 件 成長支援事業採択件数（R1）5 社 ○ 中小企業イノベーション促進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・チーム型支援企業（H24～R1）95 社 ・技術経営力評価書発行実績（H25～R1）284 件 ・評価書に基づく融資実績（H25～R1）324 件、108 億 7,946 万円 ○ サービス産業生産性向上支援（R1） <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊・卸小売・飲食業を対象とした現場改善の実施やフォローアップ（全 17 日、29 社参加） ・クラウドサービス等の導入に向けた I T 利活用セミナーの開催等（全 11 回、R1 I T 導入補助金 273 件採択） ・イノベーションを創出する組織を作るための知見や技法を学ぶスクールの開催（全 15 回、20 社参加） ○ 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・（R1）採択件数 9 件、事業費 2,818 万円 <p>【今後の取組予定】（状況によりオンライン開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創業環境整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・女性向け伴走型創業支援などを実施し、潜在的創業希望者の拡大を図る。 ・創業後の成長を後押しするため、引き続き専門的な指導・助言等を集中的に実施する。 ○ 中小企業イノベーション促進支援

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の企業にインパクトを与えるこれまでの取組に加え，新たに飛躍的な売上増や特徴的な製品開発，新事業展開等により，地域経済を牽引できる企業の創出に向けた支援を実施する。 ・制度周知のための知的資産経営セミナー，事業性評価研究会を開催する。 ○ サービス産業生産性向上支援 <ul style="list-style-type: none"> ・現場が抱える課題解決のための知見等を学ぶワークショップを県中小企業団体中央会の事業として実施することで，生産性向上の取組を県全体へ波及させる。 ・企業に収集・蓄積されたデータを分析・活用する学びの場を提供し，ノウハウ等の理解を高め，データを活用した生産性向上の取組を支援する。 ・イノベーション創出のために必要な組織づくりの知見・技法を学んだ企業を中核に，自社では解決できない困難な課題を解決するためのプロジェクトを立ち上げ実行することで，その成果を全県的に波及させる。 ○ 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・採択企業の事業実施状況のフォローアップと新規採択に向けた公募を実施する。

項目	事業概要	取組状況等																				
<p>5 多様な投資誘致の促進</p> <p>今後投資拡大が予想される分野の県内外の企業に対し、重点的な誘致活動に取り組みとともに、企業ニーズにあった助成制度も活用して県内企業の成長を促進し、社会情勢の変動に対応できる産業基盤の構築や、イノベーションの起きやすい産業集積を図ることで、県経済の持続的な発展につなげる。</p> <p>また、市町との連携や民間遊休地の活用も図りながら、県内外から企業を誘致することにより、雇用機会・税収の確保及び県内企業の活性化を図る。</p>	<p>① 企業立地促進対策事業【商工労働局】（一部新規） 5,113百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>企業の留置も含めた従来型の企業誘致に加え、企業の本社・研究開発など機能面や人材に着目した戦略的な投資誘致活動を実施する。</p> <p>また、企業の立地ニーズを踏まえ、様々な手法により、産業団地の確保に向けた取組を推進する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 立地企業等への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・基盤産業の設備投資を幅広く支援するための助成や大規模な研究開発機能への投資に対する助成 ・本社機能（本社，研究開発部門，研修施設等）を移転・新設した企業に対する社員の転居費用やオフィス改修費，人材確保経費等の助成 ※今年度，外国企業の誘致促進の観点から，海外からの進出については助成制度の要件を緩和（新規雇用3人⇒1人） ・産業用地確保のための市町に対する助成（市町営産業団地造成交付金等） 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 立地企業等への助成 <table border="1" data-bbox="1496 293 2085 544"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成額（百万円）</td> <td>3,206</td> <td>3,507</td> <td>2,286</td> <td>3,916</td> </tr> <tr> <td>県内企業留置件数及び県外企業誘致件数</td> <td>69</td> <td>47</td> <td>57</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>本社・研究開発機能等移転・拡充件数</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> ○ 企業誘致セミナー（東京） <ul style="list-style-type: none"> ・IT企業をターゲットとしたこのセミナーをきっかけに国内外の大手IT企業などの誘致が実現しており，R元は，DXをテーマとして開催し，IT企業を中心に148社の参加があった。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により，投資意欲の低下が懸念されることから，経済情勢を注視しつつ，充実した助成制度の活用ときめ細かい営業活動により，引き続き県内企業の留置及び県外企業の誘致に取り組む。 ○ 本社・研究開発機能等の移転・拡充については，デジタル・IT企業やデジタル人材の集積に向け，助成制度の活用とともに，ひろしまサンドボックスと連携を図りながら，IT企業をメインとした企業誘致セミナーや，WEBによる情報発信など，ターゲット企業のニーズに即した効果の高い営業活動を展開する。 <p>これらの取組に加え，首都圏を中心とした国内</p>		H28	H29	H30	R1	助成額（百万円）	3,206	3,507	2,286	3,916	県内企業留置件数及び県外企業誘致件数	69	47	57	48	本社・研究開発機能等移転・拡充件数	6	11	14	15
	H28	H29	H30	R1																		
助成額（百万円）	3,206	3,507	2,286	3,916																		
県内企業留置件数及び県外企業誘致件数	69	47	57	48																		
本社・研究開発機能等移転・拡充件数	6	11	14	15																		

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
		<p>企業のみならず，外国企業の誘致にも取り組むなど，より一層，効果的な企業誘致活動を実施する。</p> <p>○ 県営本郷産業団地（２期，３期）早期分譲に向けて，引き続き地元三原市と一体となった企業誘致活動に取り組む。また，産業団地の整備を進めるため，市町の産業団地開発を支援する助成制度の活用を図るとともに，広島港江波地区での官民連携による新たな産業用地確保をはじめ，民間遊休地の活用策にも引き続き取り組む。</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>② 本郷地区土地造成事業【企業局】 2,286 百万円</p> <p>企業誘致による産業集積や雇用の創出等を図るための受け皿として産業団地の造成及び分譲に取り組んできたところである。</p> <p>現在、三原市本郷地区において、県と三原市との共同事業により整備している「本郷産業団地」の事業推進に取り組んでいる。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本郷産業団地の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・所在地 三原市本郷町船木 ・事業期間 平成 27 年度～令和 3 年度 ・造成面積 41.8ha ・分譲面積 27.0ha（1 期：15.4ha，2 期：7.4ha，3 期：4.2ha） ・分譲予定企業 1 期：15.4ha 西川ゴム工業(株) <li style="padding-left: 40px;">2 期：4.2ha オート化学工業(株) ・事業主体 広島県・三原市の共同事業 <ul style="list-style-type: none"> 〔 県：設計・造成工事の実施，技術的支援 等 〔 市：公園・調整池・上水道の整備 等 ・総事業費 5,441 百万円 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 造成した産業団地 42 団地 2,002.1ha ○ 未分譲面積（R2.6 末現在） 5 団地 40.8ha (造成中の本郷産業団地を含む。 うち立地協定締結済を除く残面積 14.9ha) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本郷産業団地の整備・分譲 H27 に事業化した 1 期について，R2.12 完成に向け，造成工事等を着実に進める。 また，H30 に事業化した 2 期・3 期について，5 月に造成工事の請負契約を締結し，工事着手しており，R3 の完成に向けて着実に事業を進めていくとともに，R1 から一般会計において計画的な基金積立が開始されていることを踏まえ，県民負担を最小にするため，関係者と連携し，未分譲区画の分譲促進に取り組む。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>6 成長産業の育成・支援</p> <p>県外企業や新興国企業との競争が激化する中、県内企業の更なる競争力の強化を図るため、医療関連分野における広島県の訴求力を高める環境の整備や環境浄化産業の海外でのビジネス機会の創出支援など、産業クラスター形成に向けて、関連産業の振興と集積を着実に進める。</p> <p>また、今後の成長が期待できる航空機関連産業の裾野の拡大に向けた取組や、感性工学に基づく付加価値の高い製品開発への支援に取り組み、新たな成長分野等への参入促進や新技術・製品開発など、県内企業の挑戦を後押しする。</p> <p>さらに、本県の基幹産業である自動車産業について、サプライヤーの競争力の強化を図るため、ツナガル・自動化・利活用・電動</p>	<p>① 医療関連産業クラスター形成事業【商工労働局】（一部新規） 117百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>医療関連産業の振興・集積を図るため、県内企業の生産拡大・受注拡大やひろしま発のビジネス創出を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内企業の生産拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業による付加価値が高い製品開発への支援 ○ 県内企業の受注拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスマッチング、県外企業とのネットワークづくりへの支援 ○ 企業誘致に向けたイノベーション創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の医療機関等と連携し、医療機器の評価・医療現場観察の支援などを行う実証フィールドの構築 ・ 課題発見型の医療機器開発手法についての人材育成プログラムである「バイオデザインプログラム」の推進 ・ 総合技術研究所における企業支援機能の整備によるゲノム編集技術の産業活用の促進 など 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 推進体制を整備するとともに、「ひろしま医療関連産業研究会」を設置し活動を開始（H23.11～） <ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネーターを3名配置 ・ 会員数：482団体（うち企業435社） ○ 医療・福祉機器など約150件の事業化を支援中（H23～R2.6：79案件が上市済） <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・福祉関係の専門職組織等と連携したニーズの発掘（H25～） ・ ひろしま医療関連産業創出支援事業補助金（H24～R2.6：72件） ○ ひろしま発のビジネス創出に向けた実証フィールドの推進組織として、「ひろしまヘルスケア推進ネットワーク」を設立（H27.5～） <ul style="list-style-type: none"> ・ R1：実証件数24件、実証先43施設 ○ 展示会等で県外企業との出会いの場を提供し、企業間連携を促進（H24～） ○ 広島大学において「ひろしまバイオデザインフェロシップコース」を開講（H31.4～） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、県内企業の生産・受注拡大と広島の魅力、優位性を高める誘致環境づくりに向けた取組を推進

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>化（いわゆるCASE）と いった次世代自動車技術の 進化への対応に取り組む企 業に対する支援体制を強化 する。</p>	<p>② 環境浄化産業クラスター形成事業【商工労働局】 58百万円</p> <p>急速な経済成長により環境問題が顕在化するインドネシア・ベトナム等のアジア地域や、環境意識が高く有望市場である欧州でのビジネス機会の創出などの支援を行うことで、環境浄化産業の集積、生産規模の拡大を促進する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海外ビジネス取組企業への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の海外進出を促進するため、有望かつ積極的な取組を行う企業に対する助成 ○ 重点市場における企業の海外展開支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外サポート拠点による商談支援 (ベトナム、インドネシア、欧州) ・ 海外協定締結先との連携によるビジネス案件の創出 <p>【協定締結先】</p> <p>アジア（ベトナム、インドネシア、中国・四川省） 欧州（ドイツ・ドレスデン、オーストリア・グラーツ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外進出に向けた国内でのハンズオン支援 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業間連携や海外展開を促進するため「ひろしま環境ビジネス推進協議会」を設置・運営（H24～） ○ 広島県環境浄化産業クラスター形成事業補助金の交付（H24～R1：延べ115件） ○ ベトナム、インドネシアでの展示会出展及び企業招へい等によるビジネスマッチング（H26～R1：現地商談会6回、展示会2回、招へい商談会8回） ○ 中国四川省への企業団派遣による商談（H24～R1：7回） ○ これまでのアジア地域での協定に加え、R1.11には、欧州の2つの環境関連団体と協定を締結 ○ 環境浄化分野の売上高 H23：1,000億円⇒H30：1,546億円 ○ 海外展開着手企業数 H24：4社 ⇒R1：43社 <p>【今後の取組予定】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内企業の海外展開を支援するとともに、引き続きアジアや欧州を中心に、海外サポート拠点を活用した商談支援や、協定締結先との連携によるビジネス案件の創出に取り組む。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>③ 新成長分野・新技術創出支援事業【商工労働局】 25 百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>県内企業の国内での生産活動を維持するため、先端技術が求められる航空機関連産業への新事業展開や感性工学を活用した製品の創出などによる高付加価値なものづくりを促進する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 航空機関連産業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知見等を有するアドバイザーを活用した新規参入支援及び品質管理等の体制整備支援，メーカーとの商談機会の提供 ・ 一貫生産体制の構築へ向けた検討会の立ち上げ・運営 ・ 人材育成講座の開催 ○ 感性工学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感性イノベーション講座の開催 ・ 専門家・支援機関とのマッチング，モニター調査・解析支援 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内航空機関連産業サプライチェーンの構築を目指し「ひろしま航空機産業振興協議会」を設置・運営（H26. 5～） ○ 一貫生産体制検討会の立ち上げ・運営（R1. 12～） ○ アドバイザー支援 21 件 ○ 県内ものづくり企業の人間工学や感性工学を取り入れたものづくりを推進するため「ひろしま感性イノベーション推進協議会」を設置・運営（H26. 4～） ○ 感性イノベーション講座 2019 の開催（R1. 8～R1. 10） ○ 専門家・支援機関とのマッチング 10 件 ○ モニター調査・解析支援の実施 7 件 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き，新たな成長分野への事業展開等を支援する。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>④ 次世代ものづくり基盤形成事業【商工労働局】 97 百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>激変する事業環境下においても、本県ものづくり企業が持続的に競争優位性を確保できるようにするため、新技術の創出に向けたシーズ探索や中小企業でのAI/IoT活用を支援するとともに、産学官連携の取組を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の活動を通じた独創的技術の創出や人材育成等の支援 など ○ 自動車メーカーのニーズに合致するサプライヤーのシーズ技術等を、予備的実験により評価・検証 ○ CASE領域への対応に向けた戦略策定 ○ カーテクノロジー革新センターの運営を通じた研究開発・人材育成の支援 ○ 中小サプライヤー企業の付加価値創出や生産性向上等を支援するため、企業の課題に応じた専門家の派遣，AI/IoTの活用促進 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車産学官連携イノベーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま自動車産学官連携推進会議の運営，ものづくり産業の魅力発信の取組 からくりくふう展（R1.11）約2,100名来場 ○ 新技術トライアル・ラボ運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・シーズ探索・確立件数：7件（R1） ○ 自動車関連産業クラスター支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・カーテクノロジー革新センターによる研究開発・人材育成等の支援 人材育成：328人（R1） ○ サプライヤー技術革新力向上事業 <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術人材育成：77人（R1） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カーテクノロジー革新センターの運営を通じて、自動車に関する技術者の人材育成の支援を行うとともに、新技術トライアル・ラボにおいて、引き続き、研究開発支援を行う。 ○ また、企業の個別課題に応じた専門家の派遣や情報技術人材の育成に関する取組を実施する。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>7 世界と直結するビジネス支援</p> <p>県内企業の海外事業展開ニーズが高く、ビジネスチャンスが見込まれる地域・業種において、販路拡大・ビジネスマッチングなどの支援を通じて、県内企業の海外展開を支援する。</p> <p>また、グローバルゲートウェイ機能の強化に向けて、航空ネットワークの拡充や航空機利用の利便性向上を図るとともに、広島港・福山港における船舶の大型化などに対応した港湾物流機能の強化や外航航路の拡大を推進する。</p>	<p>① 海外ビジネス展開支援事業【商工労働局】 65百万円</p> <p>海外成長市場への参入，獲得を推進するため，食品・消費財等においては，経済成長が著しい中国，東南アジアと，また，広島県産日本酒においては，ブランド発信力の高いフランスを重点取組市場に選定し，県内企業の参入促進に向けた販路拡大・ビジネスマッチングなどを支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食 品 <ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア，ベトナム，シンガポール等における商流確立のための商談機会の提供 ○ 消費財等 <ul style="list-style-type: none"> ・中国四川省での西部国際博覧会等への出展支援や，（公財）ひろしま産業振興機構と連携した上海バイヤーとの商談機会の提供 ○ 日本酒 <ul style="list-style-type: none"> ・現地フランスの卸売業者であるデュガ社及びビルデラス社との連携によるレストラン等でのプロモーション ・本年3月に協定を締結した独立系ワイン生産者組合ブルゴーニュ・ジュラ地方連盟との連携によるブランド化の加速化 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品・消費財等分野 <ul style="list-style-type: none"> ・四川省成都，マレーシアでの商談会開催（H24～） ・中国西部国際博覧会（H23～） ・上海国際見本市への出展（H25～H28） ・食品の海外売上高（県施策捕捉分） H25：33.6億円⇒R1：121.0億円 ・消費財等の海外売上高（県施策捕捉分） H25：100億円⇒R1：218.6億円 ○ 日本酒 <ul style="list-style-type: none"> ・協定を締結した卸売業者に日本酒アンバサダーを設置し，積極的なプロモーション活動を展開したことにより，フランス国内で一定の商流を構築。 （R1：フランス国内約300店舗及びミシュラン星付きレストラン3店舗で県産日本酒を展開） <p>【今後の取組予定】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品・消費財等分野 <ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア，ベトナム，シンガポール，中国等を対象とした現地輸入業者等とのマッチングによる販路開拓支援 ○ 日本酒 <ul style="list-style-type: none"> ・現地フランスの卸売業者との協定に基づき，酒類店舗及び高級レストラン等への新規販路開

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
		<p>拓を実施</p> <ul style="list-style-type: none">・ブルゴーニュのワイン生産者組合との協定に基づき、ブランド戦略・酒類造り等ノウハウの相互提供や認知度向上・販路拡大の相互連携を実施

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>② 広島空港拠点性強化事業【土木建築局】</p> <p style="text-align: center;">45百万円（6月補正予算を含む。）</p> <p>航空ネットワークの拡充や航空機利用の利便性向上を図り、中国・四国地方の拠点空港としての競争力・拠点性を高めるため、航空会社等に対し、路線維持・拡充に向けた取組を実施する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エアポートセールス <ul style="list-style-type: none"> ・国内線及び国際線の新規路線就航・増便に向け、LCCを含めた各航空会社へのエアポートセールスを実施 ○ 国際定期路線利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・国際定期路線の利用促進を図るため、各路線の利用実態及び課題に応じた利用促進策を実施 ○ 地上支援業務の体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地上支援業務（グランドハンドリング）の体制整備を図るため、人材育成に対する支援を実施 ○ 国際定期路線緊急支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により運休している国際定期路線を維持するため、航空会社及び機内食製造業者に対し、固定経費の一部支援を実施。また、速やかな路線回復を図るために、航空会社に対し、必要となる経費（一般共用施設使用料等、運航便数に応じて必要となる変動経費）の一部支援を実施（航空会社への支援は予備費で措置） 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ R 元. 12. 18 から広島～バンコク線が週3便で就航 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内線については、令和2年3月上旬以降減便が続いていたが、緊急事態宣言の解除を受け、6月から徐々に復便している。 ○ 国際線については3月下旬以降、全路線運休となっており、回復の見通しが立っていない。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際定期路線を維持するため、新型コロナウイルス感染症の回復状況を注視しながら、引き続き航空会社、機内食製造業者への緊急支援を実施。 ○ 国内外の観光需要やビジネス需要の動向を見極めながら、航空会社や関係機関とも連携し、タイムリーかつ効果的な利用促進の取組を実施。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>8 担い手が生活設計を描ける農林水産業の確立</p> <p>県内農業をけん引する経営力の高い担い手の確保・育成を図るため、発展意欲が高い担い手に対し、企業経営への転換に向けた支援を行うとともに、環境制御技術の導入モデル実証など、スマート農業技術を活用した生産性向上の取組への支援を行う。</p> <p>林業分野においては、市町や「意欲と能力のある林業経営者」による適切な森林経営管理が行われるよう、森林環境譲与税を活用し森林所有者の意向調査や森林整備等を実施する市町に対する支援や林業経営体の育成に取り組む。</p>	<p>① 企業連携型農業参入促進事業【農林水産局】 24百万円</p> <p>収益性の高い園芸品目について、大規模な参入意向のある県内食品関連企業等に対し、全国の先進農業企業等との連携を支援することにより、農業参入決定までの期間の短縮を図り、県内農産物の生産額の増加を加速させる。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模な農業参入意向のある県内食品関連企業等への参入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内食品関連企業等の参入意向確認及び先進農業経営モデルの提案 ・ 全国の先進農業企業等：連携ニーズの確認、経営状況調査、栽培技術の本県での適用可能性調査 ・ 県内企業と先進農業企業等との多様な連携に向けた提案及び調整 <p>② 経営力向上支援事業【農林水産局】（一部新規） 82百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、経営発展意欲が高い担い手に対し、生産性の向上を図るなど企業経営への転換に向けた支援に取り組む。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業経営化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業経営実践支援 人材育成、予算・実績管理など重点課題の解決に向け専門家等を派遣 ○ アグリ・フードマネジメント講座（農業MBAスクール） <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立広島大学と連携し、イノベーションを生み出すための経営戦略を考える講座を実施 ○ ひろしま農業経営者学校（一部新規） <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者意識の醸成、経営スキルの向上 経営初期の農業者の発展意欲を醸成するための講座を実施、経営の発展段 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 参入へ意思決定した企業数：1社 ○ セミナー開催：3回、のべ124社参加（R1） ○ 参入相談に対応した県内企業数：24社（R1） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ R1に支援した企業に対しては、参入意思決定に向けた支援を継続的に実施 ○ セミナー参加企業のうち参入意向が確認できていない企業に対しては、順次、意向を確認 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業経営化支援 専門家派遣：5経営体（R1） ○ アグリ・フードマネジメント講座 講座受講者：16名（R1） ○ 環境制御技術の実証：トマト2か所（R1） 環境制御技術のコンサルティング：4経営体（R1） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業経営化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営発展意欲が高い6経営体に対し、経営コンサルタントなどの専門家を派遣 ○ アグリ・フードマネジメント講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月から、「課題解決型マーケティングプラン」、「高効率農業経営のためのマネジメント」、

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>階に応じ、経営管理の知識を習得する講座を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高度技術導入モデル実証（一部新規） <ul style="list-style-type: none"> ・高度技術を用いたモデル経営の確立（一部新規） レモン、きゅうりの環境制御技術の実証に必要な機器の導入 ・環境制御技術の高度化支援 環境制御技術を導入している経営体へ専門家を派遣 ○ 水田活用によるレモン栽培実証 <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸部の水田を活用したレモン栽培の実証 実証に必要な排水対策・寒波対策の機器等の導入，栽培適地のマッピング <p>③ ひろしま農業創生事業【農林水産局】</p> <p style="text-align: center;">72百万円（5月補正予算を含む。）</p> <p>JAグループ等と連携し、産地の担い手育成システムを構築するとともに、担い手への農地集積や基盤整備，経営リスク軽減などを一体的に支援することにより，青年農業経営者の確保・育成や担い手の経営発展，園芸産地等の拡大を加速させる。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 園芸用農地確保支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・園芸品目の作付を行う担い手にまとまった農地を集積する農地所有者等に対し，協力金を交付 ○ 園芸作物条件整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・早期の園芸産地拡大や担い手の経営高度化を図るため，スピーディーに簡 	<p>「ビジネスデザインの実現手法」をテーマとした全10日間の講座の開講を計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ひろしま農業経営者学校 <ul style="list-style-type: none"> ・8月から園芸産地で，若い農業者を対象に，発展意欲の醸成や経営スキル向上のための講座を開講 ○ 高度技術導入モデル実証 <ul style="list-style-type: none"> ・レモン，きゅうりについて，環境制御技術の実証による単収増効果の確認 ○ 水田活用によるレモン栽培の実証 <ul style="list-style-type: none"> ・寒波対策等の現地実証による生産性の確認 ・沿岸部で気象観測装置の設置による栽培適地の解析 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 園芸用農地確保支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ（三次市，北広島町，尾道市），ねぎ，ほうれんそう等の軟弱野菜（呉，竹原市，三原市，安芸太田町，北広島町），レモン（三原市，大崎上島町）など計16.6ha（R1） ○ 園芸作物条件整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ（庄原市），レタス（安芸高田市），トマト（北広島町，三原市，神石高原町，庄原市），軟弱野菜（広島市，安芸太田町），白ねぎ（安芸高田市，東広島市）など計12.0haで水田から畑地に転換，7.5haで収量増につながる

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>易な基盤整備を実施</p> <p>④ ニホンジカ被害拡大抑制対策事業【農林水産局】(新規) 37百万円 生息域が急速に拡大しているニホンジカ(以下「シカ」という。)の捕獲技術を確立すること等により、シカによる林業被害等の拡大抑制と防止を図る。 《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モデル地区における実証 <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区における調査及び捕獲方法の検証 「奥山の林業地」, 「集落周辺の里山と農地」における最新の捕獲方法等の実証 ・被害軽減対策における IoT 技術の活用 ○ 技術者育成研修 	<p>土層改良を実施 (R1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 担い手育成リース支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・軟弱野菜産地(安芸高田市) 0.6ha, ミニトマト産地(北広島町) 0.3ha (R1) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 園芸用農地確保支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県が主体となった農地所有者の意向確認 ・積極的な事業PRによる, まとまった農地の確保を推進 ○ 園芸作物条件整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ(庄原市), レタス(安芸高田市, 竹原市), 軟弱野菜(広島市, 安芸太田町, 東広島市, 福山市), ぶどう(東広島市)など計24.8haの面積増や収量増につながる基盤整備を実施予定 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モデル地区における検証 <ul style="list-style-type: none"> ・県内5箇所モデル地区(奥山2地区:3年間, 里山と農地3地区:2年間)の設定 ・生息状況調査及び捕獲の実施に向けた関係者との調整 ・センサーカメラによる生息状況調査(里山と農地3地区) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モデル地区における検証

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業経営者等を対象とした研修 県内全域の林業関係者等を対象にした捕獲技術やシカ被害対策への理解を深める研修の実施 <p>⑤ 森林経営管理推進事業【農林水産局】（一部新規） 116百万円（6月補正予算を含む。）</p> <p>森林所有者の施業意思がない森林や、森林所有者の特定が困難な森林など、既存の取組では森林所有者自らが経営管理できていない森林を適切に管理していくため、森林環境譲与税を活用し、森林整備及びその促進を図るための支援を行う。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林集積活動に関する相談体制構築：集積の障壁となる解決策を提示するための相談体制を確立するため、森林所有者の意向調査等を実施する市町に対し、法律等の専門家を派遣 ・ 市町職員に対する研修：森林・林業行政経験の少ない市町職員や地域における集積担当者を対象とした研修 ・ 森林情報共有システム構築：森林経営管理制度に対応した森林情報共有システムの構築 ・ 県による市町への直接支援：森林経営管理制度を活用し取組を進める市町に対する支援 ○ 林業経営体支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ リーディングモデルとなる林業経営体の育成：林業従事者の定着率向上に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シカの生息動向及び被害状況等の調査 ・ IoTセンサーカメラを活用した効果的な捕獲方法や労務削減効果の検証 ○ 技術者育成研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ シカの生態・被害状況等を共有する基礎研修 ・ 罾や防護柵の設置等の現地研修 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町支援（R1） <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町への専門家派遣（10回） ・ 市町職員研修（127人：8日間） ・ 森林情報共有システムの基本構想策定 ・ 地域調整会議設置（16市町）による意向調査箇所約1,900haの選定 ○ 林業経営体支援（R1） <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業経営体の育成（1森林組合，1民間経営体） ・ 同世代コミュニティづくり研修（21名：2回） ・ 無料職業紹介所の設置 ・ 就業支援イベント（2回：43名） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 意向調査等を行う市町への専門家派遣 ・ 市町職員研修（8日間） ・ 森林情報共有システムの実施設計 ・ 意向調査を進める地域の選定や、林業経営適地等に関する事前調査など市町の実務を支援

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>向け、林業経営体の組織改善に向けた取組を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業経営者等へのマネジメント研修（新規）：林業就業者の離職防止のため、組織の各階層に対し、職場環境改善に係る研修を実施 ・就業希望者、新規就業者に対する個別支援：林業へ転職希望する者に対し、相談から就業・定住まで一貫した支援を行うとともに、就業者確保に向けて活動 <p>○ 県産材供給先の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う木材需要の低下に対し、公共建築物を対象に県産材利用の負担軽減を図ることにより供給先を確保 	<p>○ 林業経営体支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業経営体の育成（1 森林組合，1 民間経営体） ・経営者，管理職員，現場責任者毎の人材育成研修実施（12 回） ・就業イベント等での就業相談や就業者に対するフォローアップ <p>○ 県産材供給先の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共建築物等を設計する設計士や関連団体に対し事業のPRを積極的に実施 <p>※ 農林水産業関係の研修会及びイベント等の取組については、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら実施する。</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>9 外国人の受入環境整備</p> <p>県内企業等において、そのニーズに基づき、特定技能等の外国人材の受入れ・就労が適切かつ円滑に行われ、これら外国人が孤立することなく、安心して生活できる環境を整備する。</p>	<p><就労環境></p> <p>① 外国人材の受入・共生対策事業【商工労働局】 3百万円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 受入れに必要な生活支援やノウハウなど有益な情報の提供（継続） ○ 関係団体と連携した相談窓口の設置と周知（新規） ほか <p>② 地域医療介護総合確保基金事業（外国人材関連）【健康福祉局】12百万円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉・介護事業者向けセミナーの開催（継続） ○ 介護留学生への学習支援（継続） ○ 外国人介護人材の資質向上研修（新規） ○ 外国人介護人材実態調査（新規） <p><生活環境></p> <p>③ 多文化共生の地域づくり支援事業【地域政策局】（一部新規） 50百万円</p> <p>《事業内容》</p> <p>日本人と外国人が相互に理解し、外国人が孤立することなく地域に溶け込んで生活できる仕組みづくりを進めるとともに、外国人が安心して生活できるよう、必要な生活関連情報の提供や、日本語によるコミュニケーション能力向上の支援などを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人との共生推進事業（新規） ○ 異文化理解促進プログラム（新規） ○ 地域日本語教室の拡充（継続） ○ 外国人専門相談窓口の運営（継続） ○ 外国人への情報提供の充実（拡充） ○ 外国人生活環境調査（継続） 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「外国人材の受入・共生対策プロジェクト・チーム」を設置（H31. 4. 1） ○ 県内外国人材雇用実態等調査及び外国人材就労意向調査（R2. 3月） 回答状況：企業等 2,346社/5,000社（46.9%）、技能実習生、留学生等：2,232人/4,552人（49.0%） <p><就労環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人材受入ノウハウ等普及セミナー（R1：3地域、251社、318人、有益な情報を得た企業等の割合42.4%） ○ 外国人介護人材の受入に対する伝達研修（R1：3地域、286人） ○ 介護福祉士養成校における介護留学生学習支援（R1：1校、7人） <p><生活環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人専門相談窓口（（公財）ひろしま国際センター）の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・相談日の増（木→木・土） ・対応言語の増（3言語→10言語） ・専門相談分野の拡充（在留資格、社会保険、労働条件に法律、人権を追加） ・相談コーナーの増設等 <p>（R1実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数303件（H30：145件） ・市町への出張相談の実施（福山市、三原市、三次市、江田島市） ・相談員研修の実施（広島市（2回）、福山市、庄原市） <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島在住外国人生活情報サイト「Live in

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>（関連する取組）</p> <p>④ 医療サービスを円滑に受けるための支援【健康福祉局】 非予算</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人患者受入可能な医療機関等の情報提供（拡充） <p>⑤ 防災対策上の支援【危機管理監】（新規） 4百万円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多言語防災情報メール（11言語対応）の配信開始及び登録促進のためのチラシ作成・配布（6月～）（新規） ○ 自主防災組織が避難の呼びかけや避難所での避難活動に活用できる翻訳カード作成（新規） <p>⑥ 住宅確保のための環境整備【都市建築技術審議官】（新規） 非予算</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多言語による賃貸借契約・入居手続等の説明ツールの周知（新規） <p>⑦ 外国人児童生徒への教育支援【教育委員会】（新規） 3百万円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モデル事業「日本語の指導を含むきめ細かな支援の充実」の実施（東広島市）（新規） <p>⑧ 事件・事故対応，交通安全対策等の充実【警察本部】 1百万円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 110番通報等への多言語対応（13言語対応）の継続及び周知徹底（非予算） ○ 運転免許学科試験の多言語対応（中国語，ベトナム語の追加等）（拡充） 	<p>Hiroshima」のリニューアル（R2.5月）</p> <p>SNSを活用して，暮らしや県・市町のイベント情報など，生活に役立つホットな情報や知っておくと便利な情報を随時発信できるようにリニューアル公開した。</p> <p>【参考】</p> <p>R1の県内の外国人労働者数：36,607人 内，技能実習：17,154人，特定技能：16人※ （R1.10月末時点，広島労働局） ※R2.3月末時点169人（出入国在留管理庁）</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p><就労環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ，企業等に対する生活支援やノウハウなど有益な情報の提供を，動画配信等により実施する。 <p><生活環境（主なもの）>（R2.7月現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人との共生推進事業によるモデル事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施市町：安芸高田市，福山市 ○ 異文化理解促進プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・実施校：加計高校，吉田高校 ○ 地域日本語教室の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・実施市町：呉市，海田町，北広島町

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等									
10 新型コロナウイルス感染症緊急対応	<p>① 広島県感染拡大防止協力支援金【商工労働局】（新規） 9,389 百万円（4月補正予算） 緊急事態措置期間中（令和2年4月22日～5月6日）に休業等の要請に全面的に協力をいただいた中小企業者に対し、支援金を支給する。 申請期間：令和2年4月30日～令和2年6月8日</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対応資金【商工労働局】（新規） 42,501 百万円（債務：24,450 百万円）（4月補正予算，6月補正予算） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者の資金繰りを支援するため、県費預託融資制度において、一定割合の売上減少等の要件に応じ、当初3年間を実質無利子とするほか、信用保証料を不要とする融資制度を実施する。</p> <p>③ 事業者向け相談窓口の強化【商工労働局】（新規） 369 百万円（R元年度3月補正予算） 事業者の経営相談に対応するとともに、国や県の各支援策を県内企業が速やかに活用できるよう、各商工団体（34 商工会，13 商工会議所，商工会連合会，中小企業団体中央会の全 49 団体）の経営相談窓口体制の強化を図った。 あわせて県，広島商工会議所，広島県商工会連合会が合同で、相談窓口を県庁に設置し、経営相談のほか各種支援策の周知や申請手続きの支援を行っている。</p>	<p>【これまでの取組状況・成果】 （7月14日支給完了）</p> <table border="1" data-bbox="1514 293 2085 520"> <tr> <td>申請件数</td> <td>17,494 件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支払件数 ・金額</td> <td>16,300 件</td> <td>4,190,050 千円</td> </tr> <tr> <td>不交付決定件数</td> <td>1,194 件</td> <td></td> </tr> </table> <p>【これまでの取組状況・成果】 ○ 5/1～7/14 までの利用実績 件数：13,605 件 金額：218,332 百万円 （融資の前提となる信用保証協会の保証承諾実績）</p> <p>【今後の取組予定】 ○ 金融機関，市町，商工団体，各種業界団体等を通じて当制度を周知し，中小企業者の資金繰りを支援する。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】 ○ 商工団体相談窓口： 相談件数 26,460 件（7月17日時点） （資金繰り 6,037 件，雇用 2,601 件，支援制度 17,822 件） ○ 県庁相談窓口： 相談件数 1,343 件（7月17日時点） （資金繰り 615 件，雇用 43 件，支援制度 685 件）</p> <p>【今後の取組予定】</p>	申請件数	17,494 件		支払件数 ・金額	16,300 件	4,190,050 千円	不交付決定件数	1,194 件	
申請件数	17,494 件										
支払件数 ・金額	16,300 件	4,190,050 千円									
不交付決定件数	1,194 件										

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>設置期間：令和2年3月26日（木）から当面の間</p> <p>④ 社会保険労務士による相談窓口【商工労働局】（新規） 4百万円（4月補正予算）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業活動の縮小等を余儀なくされた県内の中小企業者等を対象に、労務の専門家である社会保険労務士が、休業手当の支給など労務管理に関する相談に対応するほか、「雇用調整助成金」の申請手続きの助言や、県の「雇用調整助成金等活用促進事業補助金」についての案内を行う。</p> <p>※7月2日から、火・木曜日に広島労働局の事業主支援アドバイザーを配置し、雇用調整助成金の申請書の書き方等を指導（面談可）。</p> <p>設置期間：令和2年5月11日（月）から9月30日（水）</p> <p>⑤ 緊急対策販路開拓等支援補助事業【商工労働局】（新規） 108百万円（6月補正予算）</p> <p>国の小規模事業者持続化補助金（持続化補助金）に呼応し、小規模事業者が商工会・商工会議所と一体となって事業計画に基づく販路開拓等に取り組む費用の一部を助成することにより、小規模事業者の新たな生活様式の下での事業展開を支援する。</p>	<p>○ 国の第2次補正予算に係る支援など、引き続き、各支援策の周知や申請手続きの支援を行う。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 相談件数 594件（5/11～7/15）</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 国の第2次補正予算に係る支援など、各支援策の案内や手続きなどの相談対応を行う。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 令和2年度6月補正予算成立</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 市町、商工団体、各種業界団体を通じて支援制度を周知し、活用促進を図る。</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑥ 県内中小企業・個人事業主に対する制度活用支援事業【商工労働局】(新規) 1,300百万円(5月補正予算)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業活動の縮小等を余儀なくされた県内の中小企業者等を対象に、国の雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金の申請手続きに必要な費用を支援(補助)する。</p> <p>※ 県内全市町と連携し、全县共通の支援として実施。(市域の事業主は各市が窓口、町域の事業主は県が窓口。)</p> <p>⑦ 県内中小企業等採用活動支援事業【商工労働局】(新規) 28百万円(4月補正予算)</p> <p>ウェブを活用した合同企業説明会等により県内中小企業の採用活動を支援し、感染リスクを回避しながら企業情報を県内外の学生へ届ける機会を創出することにより、県内中小企業への就職を促進する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内企業に動画作成のオンラインセミナー及び個別アドバイス(200社) ○ 企業紹介動画を集めた特設サイトを開設(400社程度) ○ 双方向で学生から質問等も受けられる企業説明会のオンライン配信(100社) ○ 大手民間就職サイトを利用した情報発信費の支援(一部助成) 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 申請件数 47件(7/15時点) 決定件数 31件(〃) 相談件数 708件(〃) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町、労働局、商工団体、各種業界団体を通じて当制度を周知し、活用促進を図る。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動画作成オンラインセミナー及び個別アドバイス(支援企業募集中) 7/8時点 支援62社 ○ 特設サイト「Go!ひろしま企業紹介動画WEB」(掲載企業募集中) 7/8時点 掲載30社 ○ 企業説明会のオンライン配信 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期(6/22~26)50社、延べ1,897人視聴 ・第2期(7/6~10)50社、(視聴集計中) ○ 大手民間就職サイトでの情報発信支援(5/25~3月まで)申込企業 38社

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑧ テイクアウト・デリバリー参入促進【商工労働局】(新規) 536 百万円 (4月補正予算, 5月補正予算, 6月補正予算)</p> <p>3密を避けつつデリバリー等で営業を継続する飲食店等に対し, 令和2年4月1日以降の新規参入に係る初期投資費用を支援する。</p> <p>助成上限額: 30 万円 (補助率 10/10)</p> <p>助成対象経費: 販売促進費, 配送用車両等借上料, 器具備品費, 店舗等内装工事費</p> <p>申請 (事前申出) 受付期間: 5月7日 (木) ~ 7月31日 (金)</p> <p>⑨ 新型コロナウイルス感染症対応マニュアル策定支援【商工労働局】(新規) 5 百万円 (4月補正予算)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び, 事業継続能力向上のため, 新型コロナウイルス感染症に特化したマニュアル策定の支援により, 県内事業者が直面している危機に対応する。</p> <p>実施期間: 令和2年5月1日から一定の収束が見込まれるまで実施予定 (5月14日から支援開始)</p> <p>⑩ マスク等個人防護具等開発支援事業費補助金【商工労働局】(新規) 30 百万円 (4月補正予算)</p> <p>本県におけるマスク等個人防護具等の安定的な供給量の確保と医療・健康関連産業の振興を図るため, 県内に事業所を有する「ひろしま医療関連産業研究会」の会員企業が行う, マスク等個人防護具等の製品化・事業化のための研究開発等の事業に要する経費の一部を補助することにより, マスク等個人防護具等の製品化・事業化を促進する。</p>	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 相談件数 5月2日 (土) からひろしま産業振興機構内 (新型コロナウイルス対策事業推進チーム) に相談窓口を開設し, 事業者からの相談に電話にて対応 相談件数: 2,374 件 (~7月20日時点)</p> <p>○ 申請受付 5月7日 (木) から郵送にて事前申出の受付開始 事前申出受付件数: 1,330 件 (7月20日時点)</p> <p>【これまでの取組状況・成果】 (7月20日時点) 申込件数: 152 件, 支援済件数: 145 件</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ R2.6 末現在で5件を採択しており, 県内企業による個人防護具の開発が進んでいる。</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 引き続き, 募集を継続し, 申請のあったものから随時審査・交付決定し, 予算に達し次第募集終了とする。</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑪ ものづくり価値創出支援事業【商工労働局】（新規） 375 百万円（6月補正予算）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経営環境においても、事業の持続的発展につなげるため研究開発に取り組む県内ものづくり企業等を支援する。また、新型コロナウイルス感染症を想定した新しい生活様式で必要となる新技術・新製品開発や今後広島の新たな産業創出に向けた新技術について、応用・実用化開発に繋がる事業化可能性の検証に取り組む企業、大学等研究機関を支援する。</p> <p>⑫ 疫学調査等協力的事業者支援金【商工労働局】（新規） 40 百万円（4月補正予算）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業所の従業者または利用者の感染が確認された場合において、積極的疫学調査や県と連携した情報公開に協力した事業者に対し、支援金を交付する。 実施期間：令和2年4月30日から一定の収束が見込まれるまで実施予定 交付対象：広島県内に事業所を有する全ての事業者(過去の事例も対象とする。) 交 付 額：1事業所当たり5万円（1回限り）</p> <p>⑬ 広島県産品販路拡大緊急対策事業【農林水産局・商工労働局】（新規） 63 百万円（5月補正予算）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が縮小し販売に苦慮している県産品に対して、ECサイトを活用したキャンペーンを実施して消費拡大を図るとともに、事業者の独自ECサイトの開設とビジネス展開を支援することにより、売上増と新たな販路の確保を支援する。 《事業内容》</p>	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 6月補正予算で成立し、現在公募中（8月6日（木）まで）。</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 8月中旬に審査・採択を行い、R3・2末まで事業実施期間をもうけ、研究開発を支援する。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】 （7月20日時点） 申請：1件 問い合わせ：10件</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 6月9日、特設キャンペーンサイト「ひろしまモール」開設</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 参加事業者の掲載継続支援 ○ 消費者の購買促進に向けた周知広告 ○ 宅配カタログ配送（夏・秋各1回）</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>○ ECサイトを活用した販売苦慮品目の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通販機能を持つ県の特設キャンペーンサイトを構築し、事業者の掲載支援等を運営 ・独自ECサイト開設及びビジネス展開に向けたアドバイスの実施 ・広報媒体によるキャンペーンの周知 ・EC注文が困難な高齢者向けに、宅配カタログを配送 <p>⑭ 広島県産フラワー需要創造事業【農林水産局】（新規） 5百万円（5月補正予算）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が減退している花きについて、インターネットを活用した会員特典付き定額購入サービスを核に、地域の生花店を中心とした新たなサプライチェーンを構築するとともに、花きの魅力について情報発信することにより、家庭やオフィスでの需要を喚起する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットを活用した会員特典付き定額購入サービスの構築により花きの販売促進を図るとともに、公共施設への展示やTV・インターネットを通じて、花きの魅力についての情報発信を実施 <p>⑮ 広島県産農林水産物学校給食提供事業【農林水産局】（新規） 432百万円（5月補正予算（追加分）、6月補正予算）</p> <p>県内小中学校の学校給食において、様々なメニューを通じ県産農林水産物を提供することにより、その魅力や美味しさを伝えるとともに、外食需要等の減少により在庫が急激に増加している県産農林水産物の消費拡大を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島和牛学校給食提供事業 	<p>○ 事業者の独自ECサイト開設に向けた支援</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 6月23日～29日にJR広島駅構内で花の展示を実施 ○ 7月15日から花の定額購入サービスの受付を開始 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットによる生け花等のワークショップの開催やテレビCM等より花の魅力を発信 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島和牛学校給食提供事業 <ul style="list-style-type: none"> ・7月から要望のあった小中学校等で、随時、広島和牛給食の提供実施。 ・初回 7月8日、東広島市立三ツ城小学校等(西条学校給食センター調理分)計9校で実施。提供数約2,300食

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内小中学校における様々なメニューを通じた広島和牛の提供 ・ 広島和牛提供と併せて、広島和牛の魅力を伝えるチラシの配布 ○ 県産水産物学校給食提供事業 ・ 県内小中学校における様々なメニューを通じた県産水産物(ブリ, マダイ)の提供 ・ 水産物提供と併せて、県産水産物の旬や魅力を伝えるチラシの配布 	<p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島和牛学校給食提供事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度内に、県内 734 校、21 万人の生徒・児童等に広島和牛給食の提供を行う予定 ・ 広島和牛提供と併せて、広島和牛の魅力を伝える食育教材の配布 ○ 県産水産物学校給食提供事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 在庫が増加している養殖マダイ、ブリを学校給食へ提供予定 <p>※ 農林水産業関係の研修会及びイベント等の取組については、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら実施する。</p>